



すぎなみ

教育報

第175号
 平成16年12月8日
 発行 杉並区教育委員会
 杉並区阿佐谷南1-15-1
 ☎ 3312-2111 FAX 5307-0692
 教育委員会ホームページ
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
 区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

杉並区の教育改革事業

杉並区教育委員会では、次の3つの方針をもとにして、教育改革に全力を挙げて取り組みます。

「教師(師範)」を育てます。
自立と責任ある学校をつくります。
地域の教育力を高めます。

本号では、杉並区の教育改革事業のなかの「杉並師範塾」「小中一貫教育」「地域運営学校」についてお伝えします。



(仮称)「杉並師範塾」～平成18年4月より実施～

杉並区独自に教員を養成し、区民や保護者のみなさんの思いや願いを厳しく受け止める教師を育成する、それが「杉並師範塾」です。

教育は人なり。人が人を育てるこの仕事は人でなければできない不変の原理です。人を教えるということは、人の仕事の中で最も難しいかつ崇高な仕事です。ここにこれからの杉並区の教育を考え、公立学校の信頼回復を図り、子どもたちに何を残せるのかを直視し取り組んでいきます。

目的

「教育立区すぎなみ」を目指し、杉並独自の教師養成制度を設け、新たな学校づくりの基盤とします。

師範塾像

高き教育水準の維持・向上・発展に努める師範塾
 全国から高き志をもった人材を募り、明日の教育を求める師範塾
 児童・保護者・地域の夢や願いの実現を目指す師範塾

講師陣

講師陣には教育界、経済・文化・スポーツ界等幅広い分野から迎えます。カリキュラムについては指導・技術の習得はもとより情熱、使命感、子どもへの深い愛情、志の確立等を図るものにしていきます。

塾是

自立 求道 貢献

自ら立ち
 自ら進む道を求めかつ拓き
 学校や社会のよき支えとなる。

教師像

児童生徒の夢や願いを我がことのように受け止め、保護者や地域とともに明日を考える教師。
 児童生徒を心底愛し教えることに長け、心のよりどころとなり導き、人間味あふれる教師。
 杉並を愛しふるさと杉並に育ったことを誇りにする児童生徒をはぐくむことを喜びとする教師。
 日本人が本来もっている資質や能力を生かすとともに、わが国の歴史や文化及び伝統を尊重し、ふるさと杉並や日本を大切に作る教師。

新しい教育活動に向けて 小中一貫教育の実施と地域運営学校

杉並区では平成17年度から小中一貫教育と地域運営学校をはじめます。

小中一貫教育は、将来社会人として自立し、活躍・貢献できる資質・能力を児童・生徒に身に付けさせるために、小・中学校という学校の種類や学年の枠を超えて、9年間を系統立てたカリキュラムにより試行します。

具体的な試行内容は、国語、算数・数学の基礎的・基本的学力の確実な定着を目指す「基礎の時間」の設置や「総合的な学習の時間」を補い、21世紀に求められる力を育成する(仮称)「学び科」の実施、小学校からの英会話教育の導入などを計画しています。小・中学校が連携してどのような教育活動が可能となるか、現在実施校で検討しているところです。

地域運営学校は、地域や保護者から成る学校運営協議会を設置し、地域や保護者の方々が学校運営に参画していく新しいタイプの学校です。学校運営協議会は、地域や保護者のほか学識経験者や公募による委員がメンバーとなり、教育課程の編成の承認や学校運営について意見を述べる役割を負います。

平成17年度の小中一貫教育実施校、地域運営学校開設校は以下のとおりです。

小中一貫教育実施校 ...和泉小学校、新泉小学校、和泉中学校

地域運営学校開設校 ...桃井第四小学校、三谷小学校、杉森中学校、向陽中学校

問い合わせ先

小中一貫教育について.....指導室
 地域運営学校について.....庶務課



杉並区は子どもの安全を守るために、身近で発生する犯罪等の発生情報を携帯電話やパソコンへメールにより提供するサービスを開始します。下記のアドレスにアクセスし、登録することができます。

携帯電話 : <http://www2.webcas.net/suginami/m/> パソコン : <http://www2.webcas.net/suginami/p/>

問い合わせ先 : 危機管理対策課

学校を花でいっぱいにする ～花咲く杉並エコ・ボラキャンペーン～

みなさんはエコシールをご存知ですか？区内店舗でお買い物の際、レジ袋をもらわなかった場合に1枚受け取ることができます。また25枚集めると、100円相当のお買い物券として区内エコシール加盟店で利用できます。



このエコシールを集め、学校や地域に花を植えようという活動が学校で始まりました。

杉並第一小学校では、5年生がこの活動に挑戦。地域の商店街にお願いし、エコシール寄付箱を設置しました。そこに集まったエコシールを利用して120株の花の苗を購入し、学校のまわりにたくさんのお花を植えました。



花を植えた日はあいにくの雨でしたが、地域の方々も参加してくださり、にぎやかに終わりました。コスモスやマリーゴールドなど明るい花でいっぱいになった杉一小。今後は活動に協力

してくださった地域のお店にお花を届ける予定です。

松ノ木小学校では、PTAが中心となりエコ・ボラ活動が展開されました。11月上旬の土曜日、PTA行事「まつぼっくり会」で松ノ木小の児童だけでなく地域の人々も集まってボランティア20個に花を植えました。



約600人の参加があり、楽しく行われたこの活動。エコシールのほかボランティアパスポートも利用して、子どもたちが花を購入し、学校を飾りました。

この2校のほかにも、杉九小、若杉小、大宮小、方南小、阿佐ヶ谷中、天沼中、東原中、泉南中でこの活動は行われています。来年度も6月ごろからこのキャンペーンを実施する予定です。あなたの学校や地域でもエコ・ボラ活動を始めてみませんか？

ボランティアパスポート...「さわやか福祉財団」で発行。子どもたちがボランティアを行うとシールがもらえ、ボランティアを行った回数に応じて、スポンサーのアメリカンエクスプレス財団から活動資金がもらえるしくみ。

浜田山小教職員、中学校PTA協議会と教育委員が懇談しました



杉並区の教育委員は、さまざまな学校関係者との懇談を行っています。今回は、10月に行われた浜田山小学校の教職員との懇談と11月に行われた中学校PTA協議会との懇談の様子をお伝えします。

放課後の時間、教職員と教育委員は学校の具体的な話題も織り交ぜながら話し合いを行いました。教員からは、5、6年生で試行的に行われている教科担任制について説明があり、また、教育委員からも国語教育の大切さや習熟度別授業について意見が出されました。短時間ではありましたが、学校の現状と課題について有意義な意見交換をすることができました。

中学校PTA協議会のみなさんとの懇談では、家庭教育が話題の中心となりま

した。そして親子や地域、保護者間のコミュニケーションについてざっくばらんに意見を述べ合いました。保護者の価値観も多様化しているなかで、親と子、保護者と学校がどう関わっていくのかという問題提起もあり、活発な懇談が行われました。

今後は小学校PTA連合協議会のみなさんや中学生との懇談も予定しています。



教育委員からの発信

今年度の「教育委員からの発信」では、「杉並区の教育改革」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。

言葉で表現することの大切さ

教育委員長職務代理者

安本 ゆみ



校長室に入るとまず目に入るのが壁に掲げられた歴代の校長先生の写真、数々の表彰状そして子どもたちが心をこめて描いた絵や笑顔いっぱいの写真。それらに混ざって相田みつをさんの言葉が書かれた色紙を見かけることがよくあります。相田みつをさんはすでに亡くなられてしまいましたが、ご自身独自の世界観を自分の言葉で表していらつしやる書家です。書家とはいえずに万人が美しいと思う字ではなく、どこかほのぼのさせる暖かい書体ですが、読むたびにいつも「なるほど、本当に」とうなずく言葉が多く、今ではいくつかを語らせてくれるほどのです。別にむずかしい人生哲学を説かれているのではありません。言われてみれば当たり前で実は誰もが心の中に思っていることが何行かの短い言葉に凝縮されているので、共感を呼ぶのかもしれない。自分の思いや考えをきちんとそのまま相手に伝えることはとても骨の折れる仕事だと思えます。でもこれがうまくできると、お互い認め合うことができ集団の中で自分を発揮することや、共同で作業すること、ともだちと仲良くすることなど今よりもっと生活を楽しくすることができるように思います。

ある先生から「子どもたちの採めごとのほとんどは、ともだちの話を聞くことができず、意思の疎通がうまくとれないことが発端になっていることが多い。自分の考えをきちんと言葉に表すことができないため、時には手が先に出たり、最悪の場合それがいじめへとむかうこともある。」と伺ったことがあります。今の子どもたちは兄弟も少なく、家ではひとり

校長室に入るとまず目に入るのが壁に掲げられた歴代の校長先生の写真、数々の表彰状そして子どもたちが心をこめて描いた絵や笑顔いっぱいの写真。それらに混ざって相田みつをさんの言葉が書かれた色紙を見かけることがよくあります。相田みつをさんはすでに亡くなられてしまいましたが、ご自身独自の世界観を自分の言葉で表していらつしやる書家です。書家とはいえずに万人が美しいと思う字ではなく、どこかほのぼのさせる暖かい書体ですが、読むたびにいつも「なるほど、本当に」とうなずく言葉が多く、今ではいくつかを語らせてくれるほどのです。別にむずかしい人生哲学を説かれているのではありません。言われてみれば当たり前で実は誰もが心の中に思っていることが何行かの短い言葉に凝縮されているので、共感を呼ぶのかもしれない。自分の思いや考えをきちんとそのまま相手に伝えることはとても骨の折れる仕事だと思えます。でもこれがうまくできると、お互い認め合うことができ集団の中で自分を発揮することや、共同で作業すること、ともだちと仲良くすることなど今よりもっと生活を楽しくすることができるように思います。

今までも話すことは、子供の考えや学校の生活をj知るといふところに重きを置いていたように思いますが、表現することに少し目を向けてみるのも必要かもしれません。忙しい時代ですから親も子どもとおしゃべりする時間は少ないかもしれませんが、できるだけ子どもとはなしをする時間を持ちたいものです。

相田みつをさんの言葉です。
「育てたように子は育つ。」
……言葉ありません。

「ご意見をお待ちしています」

「教育委員からの発信」をお読みになった方からの「ご意見を募集いたします。」

「ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。」

送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員への意見」あて

ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>
(場所：生活ガイド) 子供、教育 教育委員からの発信

地域社会の発展のために区と区内5大学が連携

～「杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定」を締結～



杉並区と区内5大学（女子美術大学・女子美術大学短期大学部、高千穂大学、東京立正女子短期大学、明治大学、立教女学院短期大学）は、これまで「杉並区内大学公開講座」の開催や「杉並区図書館ネットワーク」の構築など、区民の生涯学習支援を進め、また、まちづくり・産業振興等の他の分野でも個別に連携してきました。

区民に身近な区内の大学に対しては、区民が主役となるさまざまな取り組みの貴重な支援者として、また、地域づくりの推進役などとして大きな期待が寄せられています。こうしたことから区と区内5大学は、生涯学習支援だけでなく、ひろく地域人材育成などの多様な取り組みをすすめるための包括協定を締結することとし、10月29日、区長・各学長による協定書の調印式が行われました。

今後、杉並区と各大学は、この協定に基づいて設置する協議会において、教育・文化・スポーツなどの分野における多様なニーズを整理・調整し、区のさまざまな部署と大学で、あるいは大学間相互でそれぞれの専門性を活かした取り組みを進めます。

杉並区教育ビジョンの策定を進めています

杉並区教育委員会では、平成12年度に策定された現行の教育目標、基本方針に代わるものとして、1ページに掲げた教育改革の方針を盛り込んだ「杉並区教育ビジョン」の策定を進めています。既に、広報すぎなみ11月11日号や区公式ホームページなどで素案を

公表し、区民意見提出手続き（12月10日で終了）を実施したところですが、ここでいただいた意見を参考に素案を修正し、決定する予定です。

決定した「杉並区教育ビジョン」については、平成17年2月頃、教育報臨時号を発行しみなさんにご報告する予定です。

問い合わせ先：庶務課

企業や地域からの支援を受けて

- パソコン等の寄贈と和田小での「スクイーク」学習 -

本年3月、日本ヒューレット・パカード株式会社(以下、日本HP)から、区立和田小学校、済美養護学校に対し、約3,300万円相当の機器（パソコン135台、プロジェクター5台、プリンター14台、サーバー等）の寄贈がありました。

このうち和田小では、寄贈されたノートパソコンを活用し、5、6年生を対象にスクイーク（Squeak）という名のソフトを活用した基礎的プログラミング学習を、2学期から開始しました。スクイークとは、“パソコンの父”といわれるアラン・ケイ博士が開発したソフトで、ソフトウェアの基本的な概念やシステムを作る際の発想法を子どもの発達段階をふまえて無理なく習得させることを目的に作られたものです。和田小では、地域の支援組織「コンピュータ支援者連絡会」や、国内での「スクイーク」普及の第一人者である阿部和広氏、さらに日本HPの社員ボランティアによる支援組織「HP-Squeakers」らのサポートを受けながら、この学習を進めています。



パソコン等の目録贈呈式
3月23日
左：日本HP 寺澤会長 当時
右：山田区長



和田小での授業風景（11月24日）



子どもの作業を見守るアラン・ケイ博士（中央）

11月17日には、日本HP荻窪事業所でHP-Squeakersのキックオフセレモニー（発足式）と、和田小の児童らが参加してのスクイークのワークショップが行われました。当日は、来日中のアラン・ケイ博士も出席しましたが、子どもたちの学習の成果を見て、大変満足した様子でした。参加した子ども達も、博士のサインやスクイークのマークが入った帽子などをもらい、感激の面持ちでした。

和田小学校では、今後もこうした企業や地域のボランティアの支援を受けながら、スクイーク学習を進めていく予定です。

アラン・ケイ博士...1940年5月17日、米国マサチューセッツ州スプリングフィールド生まれ。1970年代に理想のパソコンの概念を考え「ダイナブック」と名付け、そのプロトタイプ（原型）を開発し、その後のMacintosh（マッキントッシュ）やWindows（ウィンドウズ）等に大きな影響を与えました。博士は、その当時から子どもたちに対するコンピュータ教育に熱心で、それをライフワークとされています。

平成15年度 学校評価の結果をお知らせします

杉並区では、平成14年度から児童生徒、教員、保護者、学校評議員による学校評価を実施しています。平成15年度は、区立小中学校全校で実施し、教育活動、児童・生徒の様子、学校運営、保護者・地域の連携、施設設備、区の教育課題()の6つの項目についての評価を行いました。また、学校評価の結果を受け、その後の取り組みについて調査を実施しました。その評価の概要をお知らせします。

() 区の教育課題...平成15年度は、基礎基本の充実、環境教育、情報教育の3点

(1) 実施状況

教育委員会で定めた評価指標で実施した学校...小学校39校、中学校18校
独自形式で実施した学校...小学校6校、中学校5校

実施校内訳と参加総数

評価者	小学校	中学校
児童生徒	21校(2658人)	16校(4018人)
教員	34校(482人)	12校(164人)
保護者	35校(5702人)	18校(3071人)
評議員	21校(151人)	10校(66人)

4者が評価した学校...小学校10校、中学校8校

(2) 評価について

評価者別にみると学校評議員の数値が一番高く、教員からの評価がそれに続きます。児童生徒や保護者の数値と比較すると、かなりの開きがあります。

「教育活動」については教員の評価がもっとも高く、「児童・生徒の様子」については小学校では児童、中学校では学校評議員の評価が高くなっています。「学校運営」「保護者・地域の連携」「施設設備」「区の課題」の4項目については小・中学校ともに学校評議員の評価が高くなっています。

小学校の「保護者・地域の連携」では、もっとも評価の高い学校評議員ともっとも評価の低い児童の数値に0.83という大きな差が見られました。

(3) 公表について

小学校...公表した学校 43校 公表していない学校 1校
中学校...公表した学校 23校 公表していない学校 0校

公表は、学校だより・その他印刷物の配布、学校ホームページなどの方法で行っています。

また実施校全体の学校評価の公表は、12月下旬から教育委員会のホームページで行います。

(4) 改善状況について

「学校評価の実施結果について、改善の必要があると考えたものがありますか?」という問いについては、小学校95%、中学校86%が「はい」と回答しています。

実際に改善した項目は、小学校で111件(1校平均約2.6件)、中学校で50件(1校平均約2.4件)です。改善の内容については、校舎内外の見回りや授業での少人数指導の導入、教育相談活動の充実などがありました。

平成15年度 学校評価の結果(小学校)

	評価の項目(平均値)					
	教育活動	生徒様子	学校運営	保護者・地域の連携	施設設備	区の課題
児童	3.56	3.79	3.71	3.23	3.48	3.65
教員	3.93	3.89	3.71	3.88	3.62	3.75
保護者	3.68	3.77	3.53	3.55	3.43	3.55
学校評議員	4.00	3.94	4.02	4.06	3.91	3.99

平成15年度 学校評価の結果(中学校)

	評価の項目(平均値)					
	教育活動	生徒様子	学校運営	保護者・地域の連携	施設設備	区の課題
生徒	3.38	3.32	3.26	2.84	3.28	2.99
教員	3.93	3.53	3.59	3.73	3.43	3.50
保護者	3.37	3.16	3.19	3.32	3.23	3.18
学校評議員	3.82	3.66	3.72	3.83	3.65	3.55

学校評価は1~5の5段階で評価する。(5...とても思う、1...まったく思わないとした5段階の評価)この表はその平均値を表示したものです。

問い合わせ先: 済美教育研究所 ☎ 3311-0021
庶務課

南伊豆健康学園の17年度入園児童募集について

健康学園は、身体が虚弱な児童が、南伊豆の豊かな自然の中で健康の回復と体力の増進を図りながら学ぶ、全寮制の学園です。海水浴、山登り、ホテルや星を見る会など、都会では得られない自然とのかかわりを数多く取り入れています。

また、区内の小中学生と同じ内容の勉強を、少人数学級の特徴を生かしたきめ細かな指導で行います。自ら学習する力や、自立性、社会性を育て、学習面での力も着実につけていきます。



内容	入園期間 17年4月~18年3月
費用	月額 2万8000円(食事、雑費)
対象	区内小学校に在学する3~6年生(現2~5年生)で、肥満、ぜん息、偏食、虚弱の児童
申込み担当	17年2月2日までに各学校へ 学務課就学奨励係(内線1625)

教育委員会の動き 平成16年9月~11月

【教育委員会開催状況】

定例会	5回
臨時会	0回
議案	7件
報告事項	20件

【主な案件】

- は審議、は報告事項
- 「杉並区立小中学校第一次適正配置計画策定のためのたたき台(学校の統合)」について
- 「教育ビジョン(素案)」について
- 「体育施設の年始開場(試行)」について
- 地域運営学校について
- 「第8期社会教育委員の会議答申」について
- 「杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定書」の締結について
- 杉並区立学校ゆびとま情報収集手続きについて
- 杉並区立小中学校適正配置計画第三者委員会の設置について
- 杉並区小中一貫教育の試行について

米飯給食は 麦ごはん



区では、食育を、徳育、知育、体育の基礎となるものと位置づけて、体も心も健康な人づくりを進めます。

その手始めとして、学校給食において、2学期から米飯給食は、麦ごはんを提供することとしました。子どもたちが麦ごはんを食べることで、食物繊維をとったり、栄養のバランスを保ったりといった栄養面の効果を得るとともに、心と体の健康を考えるきっかけとするのがねらいです。

今後は、このことをきっかけに、学校給食において、体にいい様々な献立の給食を実施するとともに、食育を一層充実させていきます。

また、食育は、学校教育にとどまらず、乳幼児期や成人も視野に入れて、保育園や幼稚園での実施、さらには家庭や地域も巻き込んだ取り組みとして、今後推進します。

ペン知る

年始に体育施設を利用してみませんか? 来年1月2、3、4日に次の体育施設を開場します。

高井戸温水プール 個人利用(自由遊泳) 荻窪体育館(体育館、小体育室、武道場) 個人利用(卓球、バドミントン等) 下高井戸運動場 キャッチボールなどの自由利用
利用時間はいずれも午前10時から午後4時まで。利用料が必要です(一部施設を除く)。ぜひご家族などでお楽しみください。詳しくは各施設へお問い合わせください。